



栃木県議会議員

大貫

タケシ

毅

2026年 秋号

政務活動報告

第414回通常会議報告

第414回通常会議(令和8年6月2日～6月22日)が行なわれました。一般会計補正予算や「エネルギー及び重要物資の供給安定化並びに物価高騰への対策を求める意見書」他3件意見書、「日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・署名・批准を求める意見書」の提出を求める陳情書」他2件陳情について審議を行いました。

一般質問では、私たち民主市民クラブからは渡邊

典喜議員が質問に立ちました。「県内における持続的な賃上げの促進」「PFI事業の効果検証」「ギャンブル等依存症の対策」「70歳以上を含む高齢求職者の就労支援」「災害時における通信確保策」「災害時におけるペットの同行避難の体制整備」「県立高校入学選抜制度の見直しと受験上の配慮」について当局の見解を質しました。

以下、県議会の議決事項等について報告します。

議会で決まった予算など

一般会計補正予算 716,220千円

★新県立病院の基本構想の策定に要する経費 21,820千円

栃木県と国立病院機構は令和8年3月26日に県立病院と栃木医療センターの再編統合に向けた協議を進めていくことを基本合意しています。この合意に基づき令和8年から令和9年の2カ年をかけて基本構想を策定します。そのための委託事業者を公募型プロポーザルにより選定するための予算となります。

★一般家庭等のLPガス料金の高騰分に対する助成 595,400千円

★特別高圧の電気料金の高騰により影響を受ける

中小企業者等に対する助成 99,000千円

国の物価高対策の補正予算を受けての補正予算になります。全額国費で賄われます。LPガス販売業者に対して、1世帯(人)あたり990円の補助金が支給されます。特別高圧で受電する中小企業者、商業施設等運営企業、工業団地協同組合に対し、1kWhあたり7、9月分は1.8円 8月分は2.3円が補助されます。

国に対する意見書の提出

以下の4件の意見書の提出を決定しましたが、私たち民主市民クラブも賛成しました。

- ①「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産への2030年登録に向けた「温泉文化」の保護・継承等への支援及び発信を求める意見書
- ② 全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書
- ③ エネルギー及び重要物資の供給の不安定化並びに物価高騰への対策を求める意見書
- ④ 自衛官の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書

陳情の審議結果

- ① 日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・署名・批准を求める意見書」の提出を求める陳情書 **否決**
- ② 産業廃棄物管理型最終処分場建設計画の許可を行わないことを求める陳情書 **継続審議**
- ③ 医療・介護提供体制の維持に向けた意見書提出を求める陳情書 **否決**

私たち民主市民クラブは①③の陳情については採択、②の陳情については継続審議を主張しました。ちなみに、①の陳情については、2026年7月2日時点で全国756自治体議会で採択されています。

双方向の意見交換で市民が主役の政治を目指します！ どなたでも参加できます。参加費無料、申し込み不要。

第38回タウンミーティング(対話集会)開催します！

とき 8月30日(日) 14時～16時

ところ かめまケーブルテレビホール・大会議室

内容 講演「憲法で読み解く高市政治～私たちの生活と平和」
講師 太田うろう弁護士(栃木県弁護士会)

太田うろう弁護士を講師にお招きし、今の政治状況をどう捉えるのかお話し頂き、皆さんと意見交換します。
県政・市政報告、自由交換も行ないます。

私たちが参加予定です。



大貫 毅県議



船生雅秀市議



駒場久和市議

問い合わせ 大貫タケシ事務所 0289-74-7311

農林環境委員会現地調査報告

スマート農業、スマート林業の実践、 ユネスコ食文化創造都市の取り組みを学ぶ

7月3日、農林環境委員会で大田原市の岩城農場、那須町森林組合を訪問し、スマート農林業の取り組みについて現地調査を行いました。7月27日～28日には、山形県鶴岡市のユネスコ食文化創造都市の取り組み、金山町森林組合のスマート林業の現地調査を行いました。

ICT技術を生かしたスマート林業

山形県金山町森林組合では、航空レーザー計測により得られたデータを解析することにより、地形や山にどのような樹木がどれくらいあるのかなど森林経営に必要な情報を効率的に得る事が可能になったという事です。得られたデータを元に、杉の生産に適したエリア、環境保全・水源保全を目的とした天然林エリアなどにゾーニングして持続可能な森林経営を目指しています。

那須町森林組合でも、最新鋭の林業機械や集材システムを活用した効率的な林業が

行われていました。また、元気な森づくり県民税などの活用により、今まで林地に放置されていた木材の根本や穂先の部分、枝葉もバイオマス発電の燃料として搬出されていました。これにより利益を出すのは難しいようですが、災害の防止や植林の際の地ごしらえの経費が削減されるなどの効果があるとのことでした。



樹齢三百年の大美輪(おおみのわ)の大杉

地域農業の存続に向けた取り組み

岩城農場は経営面積45ha(水稻15ha、二条大麦16ha、大豆13ha、露地野菜50a)の地域では中規模の経営体です。GPSを活用したスマート農業や環境負荷の少ないグリーン農業に取り組んでいます。田植えを行わない乾田直播など農作業の効率化にも取り組んでいます。規模拡大を推進していますが、一方で農家戸数の減少により水路などの農業基盤の維持管理が課題であるとも訴えておられました。

鶴岡市はユネスコ食文化創造都市の認定を受けており、在来作物(だだちゃ豆、温海かぶ、民田なすなど)の栽培や伝統の食文化を維持継承して行く事に力を入れています。こうした取り組みを通じて、地域の誇りを引き継いでいくことも、地域農業を守っていく上で一つの方向であると感じました。

※写真左は岩城農場、写真右上は那須町森林組合、写真右下は山形県金山町森林組合の調査の様子。

栃木県議会・県政ミーティング ～栃木の未来を高校生と意見交換～

7月7日、栃木県立宇都宮東高等学校で行われた栃木県議会の県政ミーティングに参加しました。栃木県議会では令和5年から、若い人たちに県議会に関心を高めてもらう主権者教育の一環として、議員が学校を訪ねて生徒みなさんと意見交換を行う取り組み「～とちぎの未来を考える～ 栃木県議会県政ミーティング」を行っています。「不登校の生徒・児童への支援」「栃木県へのUターンを推進する魅力づくり」「商店街の整備と観光地化」「地熱発電など再生可能エネルギーの促進」「若年無業者の社会参加促進」「自転車安心して利用できる道路整備」などについて生徒さんから問題提起を頂き意見交換しました。50分と限られた時間でしたので、もう少し時間をかけて意見交換したかったというのが本音ですが、若者の考えに触れるよい機会となりました。



また県ではこども・若者の柔軟で豊かな発想を県の施策に直接反映させるため、「とちぎ未来提案実現事業」が今年はいじめて取り組まれています。若者の声を積極的に施策に取り込む取組を政治、行政ともに強化していくべきです。

【編集後記】

足利では豪雨災害、熊本では大地震の発生により多くの尊い命が失われました。亡くなられた方のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

今回は農林環境委員会の調査の内容を中心に報告させて頂きました。農業や林業の分野にも最先端の技術が投入され、飛躍的に作業の効率化が進んでいます。ただ最新鋭の農業機械や林業機械は極めて高額であり、採算性を確保するのは簡単ではないようです。農業は自然環境の影響を受けやすく、豊凶により価格の変動も激しい産業です。短期で収益が求められる昨今、林業にあっては、50年を超える極めて長い期間で収益を得る産業です。ともに、経営努力だけでは解決できない課題を抱えた産業でもあります。私たちの生活に欠かせない食糧などを供給し、私たちの精神文化の基礎ともなっている農林業みんなで知恵を出し合い守っていききたいですね。

※「通信」に対するご意見等は下記までお寄せください。

大貫 タケシ 事務所

〒322-0045

栃木県鹿沼市上殿町 276-4

TEL 0289-74-7311

FAX 0289-74-7321

mail:O.takeshi1960@gmail.com